

平成30年度

社会福祉法人 朝霞市社会福祉協議会

事 業 報 告

# 平成30年度社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会 事業報告

## 目次

### I 重点項目の取組み

- ◇ 1. 社協発展・強化計画に基づく  
組織体制の基盤強化 ..... 1
- ◇ 2. 第3期地域福祉活動計画に基づく  
重点事業 ..... 2

### II 事業報告

- ◇ 1. 法人運営事業 ..... 4
- ◇ 2. 地域福祉事業の推進 ..... 6
- ◇ 3. 相談援助事業の実施 ..... 9
- ◇ 4. 住民参加型在宅福祉サービス事業の実施 ..... 10
- ◇ 5. 福祉資金貸付事業の実施 ..... 10
- ◇ 6. ボランティア事業の推進 ..... 11
- ◇ 7. 自動販売機設置経営事業の推進 ..... 14
- ◇ 8. 市委託事業の受託経営 ..... 14
- ◇ 9. 指定管理事業の受託経営 ..... 16
- ◇ 10. その他社協関連事業 ..... 23

# I 重点項目の取組み

## 1. 社協発展・強化計画に基づく組織体制の基盤強化

### (1) 組織体制の強化

#### ◇会計監査人による監査に準ずる監査

改正社会福祉法の施行に伴う、内部統制強化のための監査を実施。専門家による相談支援、期中監査を行いました。

#### ◇事業評価制度の実施

本会事業の結果を評価し、事業目的の妥当性、事業の有効性や効率性などを検討し、事業の改廃や縮小、拡張に結びました。

#### ◇内部通報制度の導入

本会の業務運営に関する違法・不正行為の早期発見及び是正を図り、コンプライアンスの強化につなげるため、通報や相談の適正な仕組みを定めること並びに通報者の保護を目的として、内部通報制度を導入しました。

### (2) 人材育成と専門性の向上

#### ◇職員研修の充実

人材育成、職場定着のため新規採用職員研修の見直しを図り、チューター制度導入に向けた新任職員研修を実施しました。

### (3) 財政基盤の強化

#### ◇寄付金実績報告

当会の地域福祉事業の推進にご賛同いただき、多くの方々より寄付をいただきました。

	平成30年度	平成29年度
個人	延べ10件 300,885円	延べ18件 363,141円
団体	延べ20件 935,134円	延べ20件 849,805円

#### ◇社協会員募集の促進

社協活動への理解と参加の促進及び自主財源の確保のため、自治会・町内会、市内外事業所と連携し会員の募集を実施しました。

また、会員会費をはじめとする自主財源が年々減少傾向にある状況を踏まえ、ゆうちょ銀行の振込用紙の導入、朝霞市商工会会員への案内など新たな取り組みを行いました。

(一般会員500円、賛助会員1,000円、特別会員5,000円)

○強化月間：7月1日～7月31日

○目標額：9,000,000円

○実績額：7,551,264円

○加入状況内訳 ※（）内は、振込用紙による加入者数で内数

	平成30年度	平成29年度
一般会員	3,978世帯 (3)	4,826世帯
賛助会員	396世帯 (8)	420世帯
特別会員	184世帯 (47)	177世帯
500円未満	1,951世帯	2,133世帯

○社協会員募集説明会

平成30年6月14日 朝霞市総合福祉センター会議室

◇赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金活動の実施

地域福祉推進の重要な財源の確保のため、自治会・町内会、関係機関・団体と連携し、共同募金運動を実施し、県共同募金会より各募金の配分金を受領しました。

○配分金額

	平成30年度	平成29年度
一般募金配分金	3,857,000円	3,786,000円
歳末たすけあい募金配分金	4,474,000円	4,700,000円

◇収益事業の調査・研究

新規飲料用自動販売機の設置に向け、社協関連事業所等の中から設置可能な場所を調査し、設置の交渉を行いました。

(詳細は14ページ参照)

2. 第3期朝霞市地域福祉活動計画に基づく重点事業

【プロジェクト①】

支え合い・助け合いの心づくりと仕組みづくり

◇教職員対象の福祉教育研修会の実施

小・中・高等・特別支援学校の教職員や、福祉教育に携わる様々な立場の方を対象に朝霞地区四市福祉教育研修会を実施しました。

(詳細は12ページ参照)

◇ボランティア講座の開催

様々なニーズに応じて、地域で主体となり活動できるボランティアの育成を目的として各種ボランティア講座を実施しました。(詳細は12ページ参照)

◇ボランティア講座参加者の活動支援

平成29年度に実施した福祉教育サポーター講座の終了者には、小中学校における福祉教育授業での活動につなげ、安全かつ効果的な授業運営に協力していただきました。

また、傾聴ボランティア養成講座の修了者には既存の活動団体を紹介したほか、昨年度まで実施していたボランティアバス事業の参加者には、災害ボランティア講座及び災害ボランティアセンター設置訓練に参加していただきました。(詳細は12ページ参照)

◇福祉活動団体の周知

市内のふれあい・いきいきサロンの一覧や地域活動の実践者を広報紙に掲載したほか、活動団体のボランティア募集にあたってはボランティアニュースやホームページ、ツイッターを活用して周知を図りました。また、活動団体間の情報交換の場として、老人会食グループとふれあい・いきいきサロン合同交流会を開催し、団体間の新たな関係性の構築を進めました。(詳細は7ページ参照)

#### ◇地域懇談会の開催

小地域福祉活動の啓発および取り組みへのきっかけづくりとして、市内5地区で地域懇談会を開催しました。防災訓練やまち歩きなどの体験活動を通じて、身近な地域での支え合いや助け合いについて意見交換をしたほか、住民主体のイベントの企画を始めた地区もありました。(詳細は7ページ参照)

#### ◇福祉活動団体への支援

福祉活動団体への訪問等により団体との関係づくりを継続したことで、団体から相談を受け、支援につなげることができました。また、相談支援を行った結果、新たに会食会を1つ、ふれあい・いきいきサロンを4つ立ち上げることができました。

○相談支援を行った団体：ふれあい・いきいきサロン、会食グループ等32団体

○相談支援内容：新規立ち上げ、団体の運営、助成金の案内、スタッフの募集等

### 【プロジェクト②】

#### 安全・安心に暮らせる環境づくり

##### ◇災害ボランティアセンター設置訓練の実施

本会職員を対象に災害ボランティアセンター机上訓練を行ったほか、市民と本会職員共同の災害ボランティア講座および災害ボランティアセンター設置訓練を実施しました。

(詳細は13ページ参照)

##### ◇災害ボランティア講座の実施

防災教育コンサルタントを講師に迎え、災害時の初期対応について講演していただいた後、災害ボランティアセンター設置訓練を実施しました。

○期 日：平成31年2月11日

○場 所：朝霞市総合福祉センター アリーナ・会議室

○参加者：111人

##### ◇住民の防犯への意識の啓発

本会事業の登録ボランティアやあんしんサポートねっと事業の生活支援員のほか、民生委員児童委員を対象とした消費者被害防止の学習会を行い、声掛けや見守りによる地域防犯力の強化を図りました。また、朝霞警察署との見守りネットワークを締結したことにより、情報共有体制が構築できたほか、ふれあい・いきいきサロン等、住民の集まる場で防犯の講話を依頼できるようになりました。

##### ◇関係機関との連携

各地域で開催している地域懇談会をはじめ、徘徊高齢者声かけ訓練や小学校の地域連携行事などにおいて地域包括支援センターや民生委員児童委員、自治会・町内会、民間事業者、朝霞市等の関係機関と連携し、情報交換等を行いました。また、本会以外の関係機関が主催となる会議体へも積極的に参加し、連携体制の構築を図りました。

○会議体への参加：地域ケア会議・生活支援体制整備事業への協力

## 【プロジェクト③】

### 市民の暮らしや活動を支える体制づくり

#### ◇生活再建のための相談支援

生活再建に関する情報を、ホームページや広報「社協あさか」に掲載しました。また、生活福祉資金および本会福祉資金の貸付者に対し償還指導を行い、近況を把握しながら必要に応じて新たな相談支援を行いました。

#### ◇分かりやすい福祉情報の提供

ホームページのほか、迅速かつ若い世代にも情報が届くことを目的として積極的にツイッターによる情報発信を行いました。また、「朝霞社協まるわかり帳」を活用しながら、本会の行う福祉活動や福祉サービスを直接、住民に伝える活動を進めました。

#### ◇身近な相談支援の体制づくり

広報「社協あさか」に業務ごとの内容と連絡先の一覧を掲載したほか、貸付制度や各種相談窓口を掲載して相談窓口が分かるように周知しました。また、総合相談支援係の専用電話回線を設けたことにより、スムーズに対応できる環境を整備しました。

#### ◇地区ごとのネットワークづくり

地域懇談会を通じて5つの地域包括支援センターや民生委員児童委員、自治会・町内会、福祉施設、ボランティア団体、民間事業者、朝霞市等とのネットワークの維持・強化を図りました。

#### ◇ヒアリング調査の実施

地域懇談会において福祉活動団体等からニーズの聞き取りをしたほか、通年でふれあい・いきいきサロン等の地域で行われている活動に出向き、ヒアリングを行いました。また、歳末時期の生活支援事業についてボランティア活動者や民生委員児童委員からヒアリングを行い、事業の見直しを図りました。

## II 事業報告

### 1. 法人運営事業

理事会、評議員会等を開催し、事業計画並びに資金収支予算を定め、本会の基幹的業務を計画的に実施しました。

また、ホームページのリニューアルやTwitter、Facebookを活用した情報発信の機能を充実させ、福祉情報をわかりやすく、迅速に提供しました。

#### ◇理事会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
平成30年第4回	平成30年 5月29日	10人 (監事1人含む)	平成29年度事業報告等 4議案
平成30年第5回	平成30年 8月29日	9人 (監事1人含む)	補正予算等 3議案
平成31年第1回	平成31年 2月 4日	10人 (監事2人含む)	補正予算等 5議案
平成31年第2回	平成31年 3月20日	11人 (監事2人含む)	平成31年度事業計画等 4議案

#### ◇評議員会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
平成30年第3回	平成30年 6月18日	12人	平成29年度事業報告等 3議案
平成30年第4回	平成30年 9月13日	12人	補正予算 1議案
平成31年第1回	平成31年 3月 5日	21人	補正予算 1議案 (同意書による決議の省略)
平成31年第2回	平成31年 3月28日	13人	平成31年度事業計画等 3議案

#### ○正副会長会議

- 適宜開催し、理事会・評議員会提出議案等について協議を行いました。  
・開催回数：4回

#### ◇各種委員会等の開催

##### ○総務・財政委員会

- ・第1回：平成30年 5月31日 (出席者4人)  
平成30年度社協会員の募集等について  
広報紙「社協あさか」7月号の編集発行等について
- ・第2回：平成30年 8月30日 (出席者4人)  
広報紙「社協あさか」10月号の編集発行等について
- ・第3回：平成30年11月28日 (出席者4人)  
広報紙「社協あさか」1月号の編集発行等について  
寄附金の税額控除制度の活用について
- ・第4回：平成31年 2月26日 (出席者5人)  
広報紙「社協あさか」4月号の編集発行等について

##### ○企画委員会

- ・第1回：平成31年 2月19日 (出席者5人)  
3人乗り自転車貸出事業終了の進捗状況について  
友・遊びまわりスクール事業の終了について  
ホームクリーニング事業の終了と(仮称)ふれあいおたすけ隊の立ち上げについて

○評議員選任・解任委員会

・第1回：平成30年 9月 3日（出席者5人）

第27期社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会評議員の選任について（欠員分）

◇決算監査・中間監査の実施

○決算監査：平成30年 5月17日

平成29年度業務監査及び会計監査

○中間監査：平成30年11月14日

平成30年度上半期の業務監査及び会計監査

◇社協発展・強化計画の推進

本会の使命である、『誰もが安心して暮らせる福祉のまち「あさか」の実現』に向けて、経営理念及び運営方針に基づいた事業を展開・実施しました。

（詳細は1ページ）

◇広報紙「社協あさか」の発行及びホームページ等情報ツールの管理

ホームページ管理システム老朽化のため、画面構成の刷新等リニューアルを行い、より見やすく分かりやすいものに再構築しました。また、情報発信端末（タブレット）を導入し、各部署からの積極的な情報発信体制を推進しました。

○広報紙「社協あさか」の発行

・年4回【7月・10月・1月・4月（各1日発行）】

・配布先：市内各世帯（町内会自治会、公共施設等）

・発行部数：36,000部/回

○情報発信

	平成30年度	平成29年度（9月～）
Twitter	868件	354件
Facebook	233件	90件

◇職員研修の実施

研修計画に基づき、職員が階級や年齢に応じた研修を受講しました。また、社協発展・強化計画と連動・連携し、人材育成、法令順守、職員のモラルや基礎力等の向上に努めるため、内部、外部を問わず幅広い研修に参加し、研修終了後の振り返りや、伝達研修を行うなど、組織力の向上につながりました。

## 2. 地域福祉事業の推進

地域で支え合える仕組みがつけられるよう、住民の方々と一緒に取り組みを行うとともに、地域で活動している団体に対し幅広い助成を行うことで、地域の活動の支援を行いました。

◇小地域福祉活動の啓発・活動支援

地域の交流が深まり、住民が主体となって、より身近な地域で支え合う仕組みづくりを目的に、地域懇談会やサロン交流会、地域防災イベント等の住民が集まる機会に小地域福祉活動のチラシを活用しながらその効果を説明し、啓発を図りました。

○啓発資材：「はじめてみませんか ご近所でふくし」

○啓発人数：584人

このほか、住民組織である自治会・町内会に対し、地域の発展と住民の福祉向上を図ることを目的として、前年度の赤い羽根共同募金と社協会員会費実績額の20%を助成しました。

	平成30年度	平成29年度
交付先	自治会・町内会 63団体	自治会・町内会 66団体
助成金額	2,313,630円	2,496,540円

#### ◇地域懇談会を通しての住民ニーズの把握

誰もが地域で孤立せず、つながりを持つことができるよう、住民自らが地域の課題や自分たちができることを話し合う場として、市内を大きく5地区に分けて実施しました。ご近所の住民との関係性の希薄化や災害発生時の助け合い等、安全・安心な暮らしを続けるために必要なことを話し合いました。その結果、顔見知りの関係づくりを目的とした異年齢交流事業や防災訓練等を取り入れた地域懇談会の実施に至りました。

○期 日：平成30年9月から平成31年3月（全8回）

○場 所：総合福祉センター、障害者ふれあいセンター、日成オアシス朝霞、  
栄町市民センター、みぞぬま児童館、本町・岡放課後児童クラブ

○内 容：地域資源を知るためのまち歩き、防災訓練・防災グッズ工作、地域イベントの  
検討、意見交換 等

○参加者：延べ132人

#### ◇地域福祉活動団体との連携・活動支援

市内で活動する高齢者、障害者、子育てサロングループの活動支援として、交流会を実施し、サロン活動に興味がある方にも参加していただきました。

○サロン活動者交流会

・期 日：平成31年2月23日

・場 所：朝霞市総合福祉センター 会議室

・参加者：49人（25団体）

#### ◇地域福祉活動団体等への助成

市内で活動する高齢者、障害者、子育てサロングループや福祉団体等に対して、運営にかかる費用の助成を行いました。

○地域福祉活動（運営費）助成金

	平成30年度	平成29年度
団体数	52団体	44団体
助成金額	1,907,000円	1,694,000円

○地域福祉活動（事業費）助成金

	平成30年度	平成29年度
団体数	12団体	8団体
助成金額	336,908円	220,000円

○歳末援護金

	平成30年度	平成29年度
団体数	50団体	43団体
助成金額	1,433,700円	1,253,900円

◇社協出前講座のメニューの充実及び周知・啓発（広報紙等）

住民の学習機会の拡充と社協への理解を深めるため、民生委員児童委員協議会や福祉団体等からの依頼により、「社協について」や「車いす体験・ガイドヘルプ」等、身近な福祉の情報を交えた講座を職員が講師となり実施しました。

また、出前講座のメニュー一覧を作成し、「朝霞社協まるわかり帳」に掲載しました。

	平成30年度	平成29年度
実施回数	延べ27回	延べ26回

◇余暇支援・交流事業（障害児・者）の実施

【友・遊びまわりスクール】

○対象者：障害児（小・中・高校生）

○期 日：平成30年6月2日～平成31年2月2日 全5回

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○内 容：工作・調理・運動等

○参加者：

	人数	内訳
平成30年度	延べ56人	障害児23人、ボランティア33人
平成29年度	延べ64人	障害児29人、ボランティア35人

【知的障害者スポーツレクリエーション】

○対象者：18歳以上の知的障害者

○期 日：平成30年6月9日～平成31年3月9日 全9回

○場 所：朝霞市総合福祉センター アリーナ

○参加者：

	人数	内訳
平成30年度	延べ213人	障害者189人、ボランティア24人
平成29年度	延べ220人	障害者187人、ボランティア33人

◇ホームクリーニング事業の実施

歳末たすけあい運動として、市内のひとり暮らし高齢者や障害者世帯を対象に、民生委員やボランティアの方の協力を得て、地域住民どうしの交流を図りながら、日頃手の届かないところの掃除を行い、気持ち良く新年を迎えていただくことを目的に実施しました。

	平成30年度	平成29年度
期間	10月1日～11月30日	10月2日～11月30日
件数（世帯）	64世帯	56世帯
活動者	27人	28人

### 3. 相談援助事業の実施

#### (1) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）の推進（県社協委託事業）

高齢者や障害のある方で、金銭管理等に不安のある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預りサービスの援助を行いました。

	平成30年度	平成29年度
生活支援員	5人	7人
活動日数	延べ119日	延べ159日
相談件数	延べ735件	延べ688件
利用契約者	10人（認知症高齢者4人、知的障害者5人、その他1人）	11人（認知症高齢者3人、知的障害者6人、精神障害者2人）

#### ◇事業の周知啓発

社協内情報コーナーにパンフレットの設置及びホームページへのサービス案内を掲載し、事業の周知を図りました。

#### ◇生活支援員研修会の実施（ふれあいサービス協力員研修会と合同開催）

近年手口が巧妙化している消費者被害を未然に防ぐために、埼玉県消費者被害をなくす会による講義や寸劇を通して知識を深め、対応について学びました。

○期 日：平成30年12月18日

○場 所：朝霞市総合福祉センター 会議室

○参加人数：20人（内訳：生活支援員3人、ふれあいサービス協力員14人、福祉有償運送事業協力員3人）

また、生活支援員としての資質の向上を図るため、県社協主催の生活支援員専門研修会に参加しました。

#### (2) 総合相談支援体制

相談、問い合わせに対し傾聴し、適切な関係機関につなげるとともに、社協内の各部署と連携、情報共有を図り、迅速かつ相談内容に的確に対応できる体制づくりに努めました。

○相談件数：30件（高齢者・障害者・子育て関係、引きこもり、生活困窮、権利擁護等）

#### (3) 福祉機器・車いす専用リフト車の貸出し

○車いす：48件（外出・通院等）

車いすを外出・通院等の支援として貸出ししました。

	平成30年度	平成29年度
貸出回数	48件	62件

○車いす専用リフト車

車いす専用リフト車3台を外出支援として貸出ししました。

	平成30年度	平成29年度
貸出回数	延べ26回	延べ15回

#### 4. 住民参加型在宅福祉サービス事業の実施

##### (1) ふれあいサービス事業

住民の参加と協力により、高齢者や障害者、子育てなどで日常生活上の支援を必要とする方に対し、有償の家事援助、外出援助、子育て支援等を行いました。

	登録利用者	登録協力員	派遣協力員	延べ派遣日数	延べ派遣時間数
平成30年度	68人	66人	43人	964日	1,490時間
平成29年度	69人	76人	43人	1,265日	1,956時間

◇ふれあいサービス協力員研修会（福祉有償運送事業・生活支援員研修会と合同開催）

内容については前記生活支援員研修会参照

##### (2) 福祉有償運送事業

車イス利用者等身体的理由により、移動困難者の社会参加を促進し、在宅福祉の増進を図るため、福祉車両を使用し有償ボランティアの協力を得て移送サービスを提供しました。

	登録利用者	登録協力者	運送回数	運送人数
平成30年度	8人	10人	延べ92回	延べ92人
平成29年度	9人	13人	延べ134回	延べ134人

◇福祉有償運送事業協力員研修会（ふれあいサービス・生活支援員研修会と合同開催）

内容については前記生活支援員研修会参照

#### 5. 福祉資金貸付事業の実施

##### (1) 生活福祉資金貸付事業（県社協委託事業）

支援を必要とする低所得者世帯及び療養や介護を要する高齢者・障害者世帯等に必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

また、償還が滞り、連絡も取れない世帯に対して、訪問による償還指導を行いました。

○貸付相談：延べ87件（平成29年度 延べ74件）

○貸付件数： 6件（平成29年度 5件）

○償還指導： 16件（平成29年度 27件）

##### (2) 社協福祉資金貸付事業

臨時的な出費や応急的な資金を必要とする低所得者世帯に対し、必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

また、償還が滞り、連絡も取れない世帯に対して、訪問による償還指導を行いました。

○貸付相談：延べ11件（平成29年度 3件）

○貸付件数： 1件（平成29年度 1件）

○償還指導： 10件（平成29年度 12件）

○償還完了件数： 4件（平成29年度 1件）

### (3) 彩の国あんしんセーフティネット事業の支援

福祉資金貸付事業（生活福祉資金貸付事業および社協福祉資金貸付事業）にて相談のあった世帯のうち、緊急の支援が必要な世帯に対して、彩の国あんしんセーフティネット事業の支援員と連携して対応しました。

	平成30年度	平成29年度
福祉資金貸付事業相談	延べ87件	延べ74件
上記のうち、セーフティネット事業による支援	2人	7人

## 6. ボランティア事業の推進

### ◇ボランティア相談及びコーディネート

ボランティアの活動状況（ボランティア保険加入状況より）

	平成30年度	平成29年度
個人	93人	90人
団体	743人（56団体）	710人（62団体）

### ○相談件数

	平成30年度	平成29年度
相談件数	延べ66件	延べ47件
コーディネート件数	延べ20件	延べ29件

### ○団体利用室利用状況

	平成30年度	平成29年度
登録団体	27団体	27団体
利用件数	延べ105件	延べ105件

### ○録音室利用状況

	平成30年度	平成29年度
利用団体	2団体	2団体
利用件数	延べ57件	延べ80件

### ◇ボランティア情報の収集、発信（ボランティアニュースの発行等）

#### ○ボランティアニュース

ボランティアセンターの活動やボランティアに関する情報、取り巻く状況等をボランティアや関係団体、地域住民に理解してもらうために発行、配布しました。

- ・発行回数：年3回（7. 2. 3月/1回2, 000部）

#### ○ボランティアセンターガイドブック

ボランティアセンターの周知啓発を行う際の資料として、現在のボランティアセンターの活動状況に合わせた内容を冊子にすることで、よりボランティアに興味を持ってもらうことを目的に作成しました。

- ・発行部数：2, 000部

#### ◇朝霞地区四市福祉教育研修会の開催（朝霞市・和光市・新座市・志木市社協）

校長会や教頭会にて朝霞地区四市福祉教育研修会の周知を図り、研修会では福祉体験や当時者の講演を実施しました。研修の最後には朝霞市内の参加者で福祉教育について情報交換会を行いました。また、福祉教育協力ボランティアを育成するため、講座を開催しました。

○対象者：四市内で福祉教育に関わっている教職員及びボランティア

○期 日：平成30年8月7日・8日

○場 所：志木市総合福祉センター

○内 容：当事者講演、グループワーク、福祉体験（車椅子、アイマスク、ボッチャ）

○参加者：

	平成30年度	平成29年度
四市合計	延べ102人	延べ128人
朝霞市内	延べ 12人	延べ 16人

#### ◇福祉教育の支援、充実

市内小学校における福祉教育のコーディネート・支援、福祉体験教室等を行いました。

○依頼件数：

	平成30年度	平成29年度
延べ件数	32件	31件
小学校	10校+中学校1校	9校+中学校1校

○内 容：体験学習（車いす・ガイドヘルプ・手話・点字）  
講演「視覚障害者への理解」

○福祉教育用機器貸出件数：32件（車いす・アイマスク・点字盤等）  
（小中学校、市内福祉施設、企業等）

#### ◇地域福祉活動の担い手の育成

ボランティアとして活動したい人を対象に講座を開催し、ボランティアについての理解を深めていただき、実際に活動者として活躍してもらえるよう支援することを目的に実施しました。（詳細は次項参照）

#### ◇ボランティア講座の開催及び活動者の支援

##### 【東洋大学での講座】

○対象者：東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科の学生

○期 日：平成30年4月16日

○場 所：東洋大学 朝霞キャンパス講義棟

○内 容：朝霞市社会福祉協議会 ボランティアセンターの活動について

##### 【傾聴ボランティア養成講座】

地域の中で困っている方等の気持ちに寄り添い、話を「聴く力」を養ってもらい、人と人とのつながりを築くことを目的に講座を開催しました。

○対象者：傾聴ボランティアとして活動可能な方

○期 日：平成30年11月10日・17日・24日、12月1日・8日（5日間）

○場 所：朝霞市総合福祉センター はあとびあ

○参加者：11人

### 【青少年ボランティア講座】

- 期 日：平成30年11月3日・4日
- 場 所：東洋大学 朝霞キャンパス
- 内 容：ボランティアクイズ、共同募金の周知啓発活動、ボッチャ体験
- 参加者：150人（小・中・高校生・保護者等）

#### ◇ボランティア体験プログラムの実施

子どもから大人まで誰もが気軽に参加できる体験メニューを用意し、ボランティア参加のきっかけづくりを目的に実施しました。

- 対象者：市民及び近隣のボランティア活動体験希望者
- 期 間：平成30年7月～10月（強化月間7・8月）
- 場 所：市内各福祉施設等
- 内 容：保育園、福祉施設等の18メニューの中から体験学習
- 参加者：延べ246人（平成29年度 延べ202人）

#### ◇災害ボランティアセンター設置訓練の実施

災害ボランティアセンター設置訓練の一環として、職員向けに机上訓練を実施しました。

- 対象者：朝霞市社会福祉協議会職員
- 期 日：平成30年12月19日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター アリーナ
- 内 容：他社協が実施した災害ボランティアセンター立ち上げ訓練のDVD放映、カードゲームを使いマッチングについて机上訓練、グループワーク。
- 参加者：84人

#### ◇災害ボランティア講座の実施

災害発生から迅速に災害ボランティアセンターを立ち上げるため、防災教育コンサルタントを講師に招き、災害時の対応について学び、立ち上げ訓練を実施することで“災害”について考え備えることを目的に実施しました。

- 対象者：市民、朝霞市社会福祉協議会職員
- 講 師：宮崎 賢哉氏
- 期 日：平成31年2月11日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター アリーナ、第一・第二会議室、機能回復訓練室
- 内 容：一部 災害時の初期対応について  
二部 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練
- 参加者：市民 19人 職員 92人 計 111人

#### ◇ふれあい・いきいきサロンデビュー講座の実施

地域の支え合いの場作りの方法である、ふれあい・いきいきサロンの活動を発展させるための協力者を養成することを目的に実施しました。

- 対象者：既存のサロン活動に携わりたい方、新たなサロンの立ち上げをしたい方、その他サロン活動に興味がある方
- 期 日：平成31年3月19日
- 場 所：溝沼市民センター
- 内 容：映像資料上映、活動者報告、グループワーク
- 参加者：9人

## 7. 自動販売機設置経営事業の推進

### ◇自動販売機設置経営事業

収益金を地域福祉の増進に役立てるため、自動販売機設置経営事業を実施しました。また、新規飲料用自動販売機の設置に向けて調査や交渉等を行いました。

○自動証明写真機：1台（市役所庁舎内）

収益金：168,950円

○小型玩具自動販売機（ガチャガチャ）：2台（朝霞市総合福祉センター館内）

収益金：79,550円

○飲料用自動販売機：2台（テイ・エステック（株））

収益金：48,785円

○収益金：合計297,285円（平成29年度 238,152円）

## 8. 市委託事業の受託経営

### (1) 手話通訳者等派遣事業

手話を必要とする聴覚障害者等の生活におけるコミュニケーションの円滑化、社会参加の促進を図るため手話通訳者の派遣を行いました。

	平成30年度	平成29年度
依頼件数	574件	632件
派遣件数	546件 (個人364件・自治体51件・学校52件・団体79件)	602件 (個人422件・自治体60件・学校50件・団体70件)
派遣人数	延べ696人 (専任延べ310人・登録延べ368人・他機関派遣協力18人)	延べ718人 (専任延べ357人・登録延べ352人・他機関派遣協力9人)

### ◇手話通訳者の育成

手話講習会	期 日	受講者	講 師	アシスタント
入門	平成30年 5月 ～10月	20人	高島 良宏氏 (NPO法人手話教師センター)	あさか手話サークル 「あじさい」
基礎	平成30年10月 ～平成31年3月	23人	高橋 喜美重氏 (NPO法人手話教師センター)	あさか手話サークル 「あじさい」
養成・後半	平成30年 4月 ～10月	8人	米内山 昭枝氏 (NPO法人手話教師センター) 杉本 暁史氏 (NPO法人手話教師センター)	専任手話通訳者

### ◇朝霞市登録手話通訳者試験

○期 日：平成30年12月12日

○受 験 者：3人（うち合格者0人）

◇手話体験会

- 期 日：平成30年8月
- 講 師：朝霞市聴覚障害者協会
- アシスタント：あさか手話サークルあじさい
- 受講者：18人（うち修了者16人）

◇手話通訳者等派遣事務所主催講演会

- 期 日：平成31年3月17日
- 講 師：森田 明氏（明晴学園教頭）
- 講演テーマ：「日本手話の魅力」
- 参加者：151人

◇要約筆記（PC）体験会

- 期 日：平成31年2月
- 講 師：手話通訳問題研究会（要約筆記者班）
- 受講者：8人

(2) 一般介護予防事業

市内の65歳以上の方を対象に、高齢になっても健康的に生きがいをもって地域の様々な活動の場に参加できるよう、介護予防に効果のある体操の指導や運動機能向上を目指した一般介護予防事業に取り組みました。

なお、ノルディック・ウォーク教室から自主グループが2つ立ち上がり昨年度と合わせて5つのサークルが地域で活動しています。各自主サークルへ介護予防情報やノルディック・ウォークに関連した情報を提供しサークル活動の継続サポートを行っています。

また、男性を対象に工作事業として子ども達に割りばし鉄砲や紙ひこうきの作り方を教える世代間交流を実施しました。

平成30年度	回数	延べ人数
ノルディック・ウォーク教室 (フォローアップ含む)	2クール全22回 4月クール全12回 10月クール全10回 ※10月クール地域包括支援センターつつじの郷共催	407人
ノルディック・ウォークフォローアップ教室	7月、3月	69人
自力整体教室	9～11月 全6回	85人
健康太極拳教室	10～3月 全12回	248人
工作事業（世代間交流）	全4回 ※最終日、世代間交流実施	29人
健康相談 (浜崎、溝沼老セン、老人クラブ、サロン)	月2回 ※老人クラブより依頼にて随時実施	305人
他部署協働（出前講座等）	※随時実施	261人
講座（口腔・栄養・運動器）	2月	80人

## 9. 指定管理事業の受託経営

### (1) 朝霞市総合福祉センター指定管理事業

#### 【朝霞市総合福祉センター管理】

地域福祉の向上を図るため、各種の福祉サービスや情報、活動の場を提供する複合施設の建物・設備・備品の総合管理を行いました。

○開館日数：290日

○共用施設利用状況：768件 延べ9,556人

(集会室、社会適応訓練室、調理実習室、介護者教育室)

#### ○消防訓練の実施

有事に際し、被害を最小限にとどめるため、訓練を実施し技術の向上を図りました。

・第1回 平成30年 9月26日 参加者：175人 (火災想定)

・第2回 平成31年 2月21日 参加者：130人 (地震想定)

#### ○はあとびあふれあい祭り

障害の有無や世代に関わらず交流を図ることを目的に実施し、ふれあい祭り実行団体の活動内容の紹介も取り入れました。

・期 日：平成30年11月23日

・来 場 者：延べ1,009人

#### 【はあとびあ福祉作業所】

障害者総合支援法に基づき、生活介護における入浴、日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練等、多機能型施設としてのサービスを提供しました。

①開所日：月曜日～金曜日

②利用者数 (年度末)

	平成30年度		平成29年度	
	定員	利用者数	定員	利用者数
生活介護	36人	38人	36人	35人
就労継続支援B型	44人	33人	44人	33人
合 計	80人	71人	80人	68人

③通所状況

○送迎サービスの他、自転車、徒歩等による自主通所

④主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業

平成30年度		平成29年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
18社 社協5部署	2,355,402円	16社 社協5部署	2,817,769円	食品容器シール貼り、熱処理部品スプリング通し、封入封緘、タオル・入浴剤箱詰め、靴下ストック返し作業、市内幼稚園の園内清掃、コンビニ景品封入れ等

○社会参加活動

児童館祭り喫茶参加、赤い羽根共同募金（街頭募金）、自主製作品展示販売会、地域サロン活動への参加

⑤花壇植栽管理整備事業（市委託事業）

ふれあい花壇、朝霞駅南口広場花壇、朝霞市役所庁舎内プランターの植栽、灌水、除草、清掃等の管理整備

平成30年度		平成29年度	
業務内容	売上	業務内容	売上
ふれあい	4,610,520円	ふれあい	4,607,438円
朝霞駅南口 広場	869,400円	朝霞駅南口 広場	869,400円
朝霞市役所 庁舎内	129,600円	朝霞市役所 庁舎内	129,600円

⑥喫茶室「お花畑」の運営（毎週火曜日～金曜日）

平成30年度			平成29年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
200日	3,697人	2,423,650円	185日	3,582人	2,532,590円

○外部出店：市内児童館の祭りに出店

⑦売店「はっぴい」の運営（毎週火曜日～金曜日）

平成30年度			平成29年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
188日	8,690人	5,042,551円	187日	9,166人	4,599,037円

○出張販売：市役所、地域包括支援センターモーニングパーク等に出店

⑧カフェ・売店「ル・クール」の運営（毎週月曜日～金曜日）

平成30年度			平成29年度		
営業日数	利用者数	売上(委託金含)	営業日数	利用者数	売上(委託金含)
219日	13,972人	1,370,340円	-日	-人	-円

○あさか福祉作業所と合同で運営しているため、売上（委託金含）は、あさか福祉作業所と折半

⑨主な年間行事

保護者懇談会及び個別面談、日帰り課外体験研修、彩夏祭「鳴子踊り」、消防訓練、ふれあいスポーツ大会等

⑩保健衛生

利用者健康診断、精神科健診、歯科検診、成人病予防事業

⑪ボランティアの受入

○受入人数：延べ111人

○活動内容：売店及び喫茶、利用者の作業見守り等

**【障害者就労支援センター業務】**

市内在住の障害のある方やその家族、また関係する事業所、施設、教育、医療機関等を対象に、障害のある方の就労支援と生活支援を総合的に行うことにより、一般就労の拡大を図るとともに、自立と社会参加の促進を目的に支援を行いました。

平成29年度から引き続き、情報の共有や統一した支援の提供を目的に、はあとぴあ及びふれあい障害者相談支援センターとの合同会議を開催しました。また、関係機関との連携強化のため、講師を招いての研修会には周辺4市の関係機関まで広く周知し、各関係機関との関係構築を図りました。

○登録者数：292人（新規登録者54人）

（身体30人・知的90人・精神164人・その他8人）

○就職者数：47人（平成29年度41人）

○就職先の主な業種

業種	身体障害	知的障害	精神障害	その他
飲食業		3人	2人	
福祉		1人	1人	1人
軽作業	1人	6人	9人	
事務	1人	2人	15人	
清掃	2人	1人	2人	
計	4人	13人	29人	1人

○事業所・関係機関との連携

新規事業所開拓	41件 (平成29年度39件)	雇用相談	延べ 1,142件 (平成29年度延べ827件)
調査研究・普及啓発	延べ38件 (平成29年度延べ37件)	関係機関との連携	延べ 1,586件 (平成29年度延べ1,337件)

○余暇支援事業

**【茶話会】**

期 日：平成30年8月26日

場 所：朝霞市総合福祉センター

参加者数：20人

**【朝霞市ふれあいスポーツ大会】**

期 日：平成30年9月16日

場 所：朝霞市総合体育館

参加者数：9人

**【はあとぴあ障害者相談支援センター業務】**

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう身体状況、環境等に応じて、利用者及びその保護者からの相談に対し、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携により、生活全般の支援等を行いました。

平成29年度に引き続き、情報の共有や統一した支援の提供を目的に、はあとびあ及びふれあい障害者相談支援センターとの調整会議や、障害者就労支援センターを含めた合同会議を開催しました。また、関係機関との連携強化のため、講師を招いての研修会には周辺4市の事業所にまで広く周知し、各関係機関との関係構築を図りました。

<基本相談>

平成30年度	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
平成30年度 登録者	53人	116人	161人	28人	358人
相談件数	84件	325件	284件	94件	787件
平成29年度 登録者	49人	104人	152人	7人	312人
相談件数	55件	277件	229件	115件	676件

<計画相談>

	障害者契約者数	障害児契約者数	合計
平成30年度契約者数	117人	45人	162人
平成29年度契約者数	133人	29人	162人
支援内容	◇福祉についての情報提供・総合的相談。 ◇福祉サービスや福祉施設等の利用方法の説明・紹介・仲介。 ◇福祉事務所、児童相談所、福祉施設、教育機関等との調整及び連携。 ◇療育相談（発達に心配のある子どもに関すること）。 ◇サービス等利用計画の作成や訪問等による継続支援。 ◇障害児支援利用計画の作成や訪問等による継続支援。 ◇権利擁護に関する支援等。		

(2) 朝霞市老人福祉センター指定管理事業

60歳以上の高齢者が健康で明るい生活を営むための一助として、各種の相談や教室の開催を実施しました。

○利用状況

区 分	浜崎老人福祉センター		溝沼老人福祉センター	
	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度
開館日数	293日	293日	292日	293日
年間利用者数	59,621人	59,294人	71,513人	73,108人
1日平均利用者数	203人	202人	245人	250人
個人利用者数	50,305人	48,930人	63,839人	65,025人
団体利用者数	2,649人	2,639人	2,457人	2,564人

○高齢者健康相談

区 分	浜崎老人福祉センター		溝沼老人福祉センター	
	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度
実施日数	月1回	月1回	月1回	月1回
相談件数	113件	121件	159件	185件

### (3) 朝霞市児童館指定管理事業

児童が健全な遊びを通して健康を増進し、情操を豊かにすること等を目的に実施しました。

#### ○利用状況

児童館名	開館日数		年間利用者数		1日平均利用者数	
	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度
きたはら	290日	292日	36,951人	39,947人	127人	137人
はまさき	293日	293日	35,066人	34,413人	120人	117人
みぞぬま	292日	293日	57,442人	55,367人	197人	189人
ねぎしだい	293日	293日	36,295人	34,663人	124人	118人
ひざおり	290日	292日	40,775人	43,976人	141人	151人
合計	—	—	206,529人	208,366人	—	—

#### ○主な年間事業

幼児・児童事業、交流事業、工作事業、合同事業、館外事業、調理事業、春まつり、夏まつり、クリスマス会、ランドセル来館事業等

### (4) 朝霞市放課後児童クラブ指定管理事業

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している1年生から6年生の児童に対し、授業の終了した放課後及び夏・冬・春休み・土曜日等の学校休業日に放課後児童クラブにおいて家庭に代わる生活の場を確保し、適切な遊びや指導を行うことにより、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。

#### ○放課後児童クラブの状況

クラブ名	定員		在籍数(年度当初)		延べ児童数	
	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度
本町	115人	115人	106人	125人	1,292人	1,436人
朝志ヶ丘	150人	150人	158人	162人	1,813人	1,883人
岡	122人	122人	119人	136人	1,370人	1,536人
膝折	130人	130人	100人	101人	1,144人	1,167人
栄町	135人	135人	170人	188人	1,784人	2,082人
浜崎	148人	148人	146人	141人	1,733人	1,670人
泉水	125人	125人	162人	165人	1,868人	1,868人
幸町	98人	98人	120人	108人	1,285人	1,295人
根岸台	80人	80人	66人	59人	691人	675人
溝沼	140人	140人	137人	112人	1,477人	1,225人
合計	1,243人	1,243人	1,284人	1,297人	14,457人	14,837人

#### ○主任会議・指導員会議の開催 1回/月

#### ○主な年間事業

お誕生会、調理実習、季節の行事、伝承遊び、あそびンピック(10クラブ統一事業)等

(5) 朝霞市障害者ふれあいセンター指定管理事業

【朝霞市障害者ふれあいセンター あさか福祉作業所】

ふれあいセンターの設備・備品の管理、建物の総合管理を行うとともに、障害者総合支援法に基づく多機能型施設として、生活介護における日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、スヌーズレンによる感覚統合支援、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練、就労移行支援における一般就労に向けた訓練や企業見学・実習等のサービスを提供しました。また、今年度より市内の企業（テイ・エス テック(株)）でカフェ・売店「ル・クール」の運営を開始しました。（はあとぴあ福祉作業所と合同運営）

①開所日：月曜日～金曜日

②利用者数(年度末)

サービス	平成30年度		平成29年度	
	定員	利用者数	定員	利用者数
生活介護	15人	11人	15人	11人
就労移行支援	8人	1人	8人	2人
就労継続B型	37人	33人	37人	32人
合計	60人	45人	60人	45人

③通所状況

○送迎サービスの他、路線バス、自転車、徒歩等による自主通所  
(就労移行支援事業は自主通所のみ)

④主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業等

平成30年度		平成29年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
16社 社協1部署	4,251,855円	15社 社協2部署	4,216,957円	プラスチック部品組立、機械用オイル詰め・箱入れ作業、線香箱詰め、マグネット製品の箱詰め、老人施設シーツ交換、洗濯物たたみ、資材梱包等

○パンの製造販売

【こんがりパンの店「フレア」】

平成30年度		平成29年度		主な販売場所
販売回数	売上	販売回数	売上	
169回	3,665,792円	174回	3,064,672円	フレア店頭、浜崎農産物直売所、老人福祉センター、市ブース販売、イベント販売等

○カフェ・売店「ル・クール」の運営（毎週月～金）

平成30年度		
営業日数	利用者数	売上
219日	13,972人	2,740,680円 (総売上げ) 1,370,340円

\*売上は、はあとびあ福祉作業所と折半

○社会参加活動等

自主製作品展示販売会、赤い羽根共同募金（街頭募金）、周辺地域の清掃活動等

⑤就労支援（就労移行支援事業）

一般就労に向けて実施した作業訓練や企業見学・実習を通し、利用者1人が就労しました。

○企業見学：5回（特例子会社、就労継続支援A型事業所、）

○企業実習：1回（障害者施設、）

○就職者数：1人（障害者施設、）

○定着支援：34回

⑥主な年間行事

○保護者懇談会及び個別面談、日帰り課外体験研修、彩夏祭「鳴子踊り」、音楽療法、ふれあいスポーツ大会（市主催）、新年交流会、障害児親子参加事業、消防訓練等

⑦保健衛生

○利用者健康診断、精神科健診、歯科検診、成人病予防事業等

⑧ボランティアの受入れ

○受入人数：延べ4人

○活動内容：事業の補助等

⑨ふれあいセンターの管理運営

○消防訓練（避難・消火・通報）の実施

有事に際し、被害を最小限にとどめるため、あさか福祉作業所利用者を対象に避難訓練等を実施しました。また、第2回目の煙体験訓練は、多くの地域の方も参加していただき、更に地域住民との関係性を深められました。

・第1回 平成30年7月23日 参加者：38人（利用者38人）

・第2回 平成31年1月28日 参加者：45人（利用者32人・地域関係者13人）

**【ふれあい障害者相談支援センター業務】**

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、利用者及びその保護者からの相談に対し、身体の状況や環境等に応じて、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携により、生活全般の支援等を行いました。

平成29年度に引き続き、情報の共有や統一した支援の提供を目的に、はあとびあ及びふれあい障害者相談支援センターとの調整会議や、障害者就労支援センターを含めた合同会議を開催しました。また、関係機関との連携強化のため、講師を招いての研修会には周辺4市の事業所にまで広く周知し、各関係機関との関係構築を図りました。

	身体	知的	精神	高次脳機能	障害児	計
平成30年度契約者数	9人	43人	0人	0人	17人	69人
平成29年度契約者数	5人	41人	0人	0人	1人	47人
支援内容	◇サービス等利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇障害児支援利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇福祉についての情報提供、総合的相談 ◇福祉サービスや福祉施設等の利用方法の説明、紹介、仲介 ◇福祉事務所、福祉施設、教育機関等との調整及び連携 ◇権利擁護に関する支援等					

## 10. その他社協関連事業

### (1) 埼玉県共同募金会朝霞市支会の事務局（関連3ページ参照）

#### ◇支会理事会の開催

- 平成30年5月29日 朝霞市総合福祉センター 会議室 出席者8人
  - ・平成29年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業報告について
  - ・平成29年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支について
- 平成30年8月29日 朝霞市総合福祉センター 会議室 出席者9人
  - ・平成30年度共同募金運動の実施について
- 平成31年3月20日 朝霞市総合福祉センター 会議室 出席者11人
  - ・平成31年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業計画について
  - ・平成31年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支予算について

#### ◇赤い羽根共同募金運動説明会

- 対象者：自治会・町内会長
- 期 日：平成30年9月13日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター会議室

#### ◇赤い羽根共同募金

- 強調月間：10月1日～10月31日
- 目 標 額：8,000,000円  
(平成29年目標額 8,000,000円)
- 実 績 額：6,759,056円 (埼玉県共同募金会へ全額送金)  
(平成29年実績額：7,504,943円)

#### ◇地域歳末たすけあい募金

- 期 間：11月20日～3月31日
- 目 標 額：4,845,000円  
(平成29年目標額 5,060,000円)
- 実 績 額：4,650,989円 (埼玉県共同募金会へ全額送金)  
(平成29年実績額：4,985,325円)

(2) 日本赤十字社埼玉県支部朝霞市地区の事務局

◇日赤会員会費募集説明会

- 対象者：自治会・町内会長
- 期 日：平成30年4月11日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター会議室

◇会員会費募集

- 強調月間：5月1日～5月31日
- 目 標 額：8,149,400円
- 実 績 額：5,844,167円（日本赤十字社埼玉県支部へ全額送金）

◇日本赤十字社救援車の配備

- 車両受渡日：平成31年3月14日
- 車 種：日産ADバン（NV150AD）
- 台 数：1台